

長崎国際大学 創立10周年記念事業

時代の潮流を学ぶ

# いのち・健康・暮らし

《講師》

元内閣官房副長官

**古川 貞二郎氏**

佐賀県知事

**古川 康氏**

長崎県副知事

**藤井 健氏**

《コーディネーター》

長崎国際大学 学長

**潮谷 義子**

平成 22 年 **6月19日** [土]

午後 1 時 30 分 ~ 3 時 30 分

会 場：長崎国際大学 1101教室 他

定 員：500名(1101教室以外の会場は、ビデオ中継となります)

入場無料・事前申し込み不要

## ～創立10周年記念事業のご案内～

- 7月18日：特定非営利法人 国境なき医師団日本会長 黒崎伸子氏講演会(高校生対象)
- 9月21日：東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授 姜 尚中(カン サンジュン)氏講演会
- 10月30日・31日：大学祭
- 11月27日：10周年記念式典等

# 「いのち・健康・暮らし」を考える

長崎国際大学は、長崎県、佐世保市、地元企業からの支援を受け、平成12年4月に「公私協力型」の大学として発足し、10周年を迎えました。創立10周年記念事業のスタートとして、「時代の潮流を学ぶ」というテーマで、特別公開講座を企画いたしました。

現在私たちを取り巻く自然、社会、経済は、混沌とした状況にあります。本学は、人間社会学部国際観光学科・社会福祉学科、健康管理学部健康栄養学科、薬学部薬学科の3学部4学科を配し、「いのち・健康・暮らし」に軸足を置いた人材育成をめざしています。時代の流れは、果たして、どこに向かっているのか、「いのち・健康・暮らし」の観点から、講師の方々に語っていただきます。次の10年を見据え、私たちがなすべきことは何かを共に考え、語り合う場としたいと思えます。



学長 潮谷 義子

## 講師紹介



元内閣官房副長官  
古川 貞二郎(ふるかわ ていじろう)

佐賀県生まれ。  
昭和33年九州大学法学部を卒業。同年長崎県庁に入庁。昭和35年厚生省に入省後、大臣官房審議官、内閣官房首席内閣参事官、厚生省児童家庭局長、官房長、保険局長、事務次官を歴任。平成6年退官後、平成7年から平成15年まで村山、橋本、小淵、森、小泉の5人の首相のもとで内閣官房副長官を務め、その後は、早稲田大学大学院公共経営研究科客員教授、安全保障・防衛力懇談会委員、皇室典範に関する有識者会議委員・男女共同参画会議委員などを務める。現在は、恩賜財団母子愛育会理事長・東京都社会福祉協議会会長。座右の銘は、「一念一念と重ねて一生なり」趣味は、菜園作り、歴史散歩。



佐賀県知事  
古川 康(ふるかわ やすし)

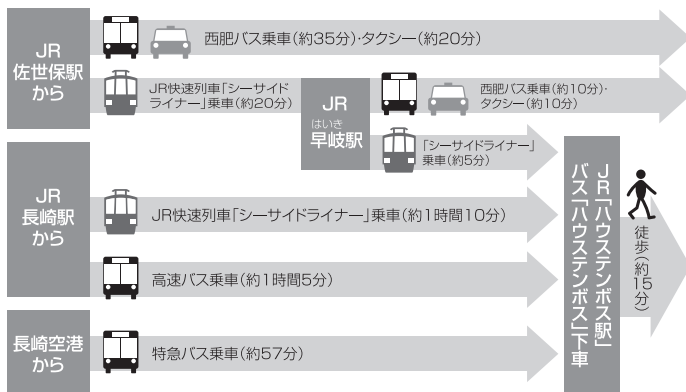
佐賀県生まれ。  
昭和57年東京大学法学部を卒業、同年自治省に入省。  
卓越した好奇心で「どうでもいいこと」(雑学)を探求する達人。雑学王である。人間を信じる、大切にする。優しさ、先見性、決断力、ユーモアがある。日本各地に幅広い古川ファン層を持つ。  
平成15年、マニフェストを掲げ佐賀県知事選に挑戦、同年4月、全国で一番若くして知事に就任。現在2期目。  
「がんばらんば さが!」をキーワードに、「くらしの豊かさを実感できる佐賀県」の実現を目指して県政に取り組む。



長崎県副知事  
藤井 健(ふじい たけし)

東京都生まれ。  
昭和58年一橋大学経済学部を卒業。同年、建設省に入省。  
建設省(現国土交通省)では、扇 千景大臣の秘書官や土地情報課長などを歴任し、平成19年4月、長崎県副知事に就任。  
長崎県の将来を見据え、新幹線を活かした街づくりや、五島列島における電気自動車と高度道路交通システム(ITS)を連動させた世界でも初めてとなる、未来型ドライブ観光システム「長崎EV&ITS(エビッツ)」の構築など、長崎県の活性化に取り組む。  
趣味は天体観測と長崎に赴任してから始めた自転車。休みが取れた日には、県内各地を自転車で巡っている。

### ●ACCESS



長崎国際大学

